

視察レポート

in 北海道

10月2日

勇払郡安平町

10月3日

石狩郡当別町

研修テーマ

10月2日

勇払郡安平町

○北海道地震の被害状況と議会対応について

10月3日

石狩郡当別町

○道の駅と地域振興について



安平町

北海道胆振東部地震の被災地を視察して

加藤光彦

昨年9月6日に発生した北海道胆振東部地震は震度6強の震度で安平町を襲った。町内の建物被害は全壊93棟、半壊357棟、一部損壊2440棟。幸いなことに死者はゼロであった。そもそも我々が体験したことのない「震度6強

とはどれほどの揺れだったのか」素朴な疑問を安平町の議長、及び職員に生の声を聞いてみた。その回答は「直下型の地震であったため、大きな上下動とその後の横揺れで逃げ出すことはもちろんのこと、何一つ行動をとることができなかった」とのこと。緊急地震速報も地震が発生してから流れたとのことで、避難の役には立たなかったらしい。



安平町役場

今回受けた説明の中で行政向けの部分は割愛するが、我々議員や住民にとって参考にしなければいけないと感じたことを以下に書き記したい。議員や議会は混乱を避けるため、「状況が落ち着くまで行動及び急を要しない問い合わせや働きかけを災害時に役場内に設置される災害対策本部に行わないこと。そして住民も議員にそれを求めないこと」。

住民に関しては「避難

行政 議員



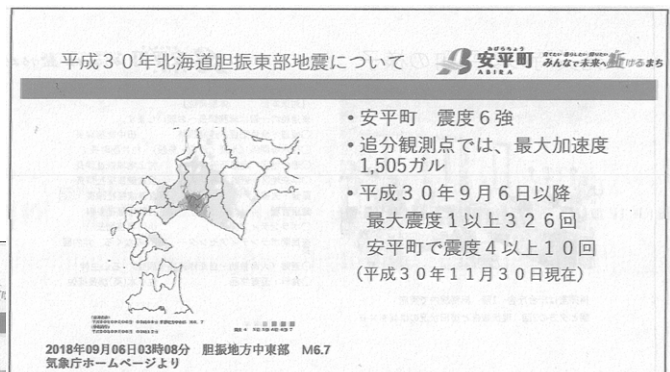
北欧の風 道の駅とうべつ



発災時の安平町の様子

• 集積場いっぱいの廃棄物

• ボランティア等による分別



所生活4日目頃から体の臭いや痒み、子どもの声などのストレスによりトラブルが発生し始めるので避難所の運営には相互理解や自衛隊などによる入浴支援が必要である」等の説明を受けた。また、避難所の運営がうまくいくか否かは「日頃から行政に頼り過ぎない地域の協力体制を構築しておくことや自主防災組織による効果的な防災訓練の積み重ねによるところが大きい」という説明も印象に残った。

飛島村議会はこれまで大災害の発生した地域の被災状況や復興状況の視察のために全国各地に足を運んできた。ここ数年、全国的にどこでどんな大災害が起きても不思議ではないほど大災害が頻発している。そんな中であって、この地方には最近大きな災害が発生していないのが不気味である。被災地へ視察に行くたび

震災後指揮した職員のお話の聞きかた



に思うことは「明日は我が身」災害は忘れた頃にやってくる」という言葉である。全国各地で発生している大災害を人ごとではなく、自分ごととして捉え、近い将来発生するとされている南海トラフ大地震の減災のために最善の備えをしておく必要があると改めて感じさせられる視察となった。

今後来るかも知れない 災害に備えて

今回の地震において、改めて感じた点

- ・訓練の大切さ（防災訓練では災害発生訓練のD・I・Gや避難所運営訓練H・I・Gが有効）
- ・情報の開示の必要性（マスコミとの連携・忘れない心）
- ・無駄と思うかどうか 防災備蓄品の大切さ
- ・情報収集の努力（危険と思ったら即行動・自分で）
- ・人との絆の大切さ（普段からのコミュニティ・聞く・教える）
- ・感謝の気持ち！（全国からのボランティアなど・避難生活が長引くと対立が生まれる）

「備えよ！常に」が原点と「常に最善」

平成 30 年北海道胆振東部地震被害概要 要約最新版（安平町）

1. 地震の概況（気象庁発表）

発生日時：平成 30 年 9 月 6 日 午前 3 時 7 分
震 源 地：胆振地方中東部
（北緯 42.7 度 東経 142.0 度）
震源の深さ：37km
地震の規模：マグニチュード 6.7
安平町の震度：震度 6 強
※9/6 から 11/11 まで震度 1 以上の地震回数
震度 6 強 1 回、震度 4 8 回、震度 3 29 回、
震度 2 70 回、震度 1 137 回
余震合計 245 回（気象庁 H P）

2. 被害の状況 平成 31 年 3 月 31 日時点

- (1) 人的被害 死亡者 0 名 重傷者 7 名
軽傷者 10 名
- (2) 建物被害（安平町）〈住家〉
全壊 93 棟 大規模半壊 54 棟 半壊 303 棟
一部損壊 2,440 棟 無被害 185 棟
住家合計数 3,075 棟
- (3) ライフライン 11 月 1 日調査時点
①水道 全世帯で断水。本管損傷等による。
追分地区 1,628 戸 早来地区 1,965 戸
合計 3,593 戸
・発災後、9 月末を目めに復旧着手
・断水中は給水車を配置（国土交通省・陸上自衛隊・応援市町給水タンク車）
・9/29（土）に断水解消
②電気 全世帯で停電（断線・電柱倒壊）
追分地区 1,628 戸 早来地区 1,965 戸
合計 3,593 戸 9/18 16:30 頃 完全復旧
③道路 平成 30 年 10 月 1 日時点
a 町道
追分地区通行止め 6 路線、片側通行 3 路線
早来地区通行止め 15 路線、片側通行 3 路線
b 道道 1 路線通行止め（瑞穂ダム）
道道千歳釧路線、道道北道平取線の通行止めは 9 月 19 日に解除
道路・河川災 7 4 箇所のうち、試掘調査済箇所を含めると 1 8 箇所が埋文包蔵地近接箇所該当。
④ゴミ
■処理場までの道路が土砂崩れにより寸断され使用できない→10/22 より通行可
■通常収集の開始 9 月 10 日（月）から
■自己搬入による震災ゴミの受け入れ（大師ヶ丘公園）9 月 10 日（月）8:30～17:00 から開始
■事業系ゴミの受け入れ（大師ヶ丘公園）9 月 12 日（水）から 10 月 19 日まで
■震災大型ゴミの回収 9 月 22 日（土）追分地区、安平地区 9 月 23 日（日）追分地区 9 月 24 日（月）早来地区、追分地区、安平地区
自宅前の収集について 10/8（月）まで期間延長

- 家電リサイクル法対象品の受け入れ～9/27 から受け入れ（厚真・むかわ実施済）
■11/10.12 ボランティア・職員との大師ヶ丘公園のゴミの分別を開始 11/17.18 も実施予定
⑤教育施設
■追分小学校、早来中学校が被災し校舎等の使用が出来ない。
・追分小学校：9 月 13 日から再開（追分中学校にて再開）3 学期より小学校で授業再開 H31.1.21
・早来小学校：9 月 13 日から
・追分小学校：9 月 13 日から
・追分中学校：9 月 13 日から
・早来中学校：9 月 14 日から（早来町民センターにて再開）
※早来中学校 仮設校舎 12 月 25 日完成 3 学期より仮設校舎へ H31.1.15
仮設校舎 約 145,000,000 円
⑥安平町内における墓地被害について

平成30年北海道胆振東部地震による墓石破損状況

	全壊	半壊	一部損壊	無	墓石合計	破損率
1 早来墓地	372	10	51	13	446	97.0%
2 追分墓地	55	5	28	20	148	86.4%
3 安平墓地	123	16	7	12	158	92.4%
4 追分墓地	30	7	15	37	89	58.4%
5 追分墓地	3	0	1	0	4	100.0%
6 追分墓地	156	109	160	642	1,067	42.0%
7 追分墓地	25	19	16	34	94	64.2%
8 追分墓地	4	0	1	0	5	100.0%
9 追分墓地	1	0	0	0	1	100.0%
合計	850	168	278	758	2,094	83.8%

3. 罹災証明書の交付状況 令和元年 8 月 31 日時点

○罹災証明書発行場所数 追分・早来 2 ブース

＜住家＞ 発行件数

	全壊	大規模半壊	半壊	一部損壊	無被害
棟 数	90/93	40/56	359/308	3,158/2,478	167/185
率	96.77%	87.50%	116.56%	127.44%	89.78%

※半壊、一部損壊については、アパート等による借家世帯により調査該当者より申請世帯数が上回った。 住家合計棟数 3,121 棟

＜非住家＞ 調査件数

	全壊	大規模半壊	半壊	一部損壊
棟 数	352/343	71/62	436/463	1,670/2,178
率	102.62%	114.52%	88.43%	76.67%

当別町

上田光彦

10月3日、視察先（北

欧の風 道の駅とうべつ）は札幌市に隣接し、姉妹都市スウェーデン国レクサンド市の街並みを模した、北欧風の外観の建物が特徴的な道の駅で、平成 29 年 9 月にオープンし、まるっと 2 年経過しました（9 月 14 日から 2 周年祭）。

視察先 1 日目の安平町の道の駅も、道の駅とうべつも共に、当初想定した倍以上の来客があり、両町の関係者の皆さんは安堵しておみえでした。

実は当別町、4 年前に視察させていただいた時にはまさに、道の駅開設の準備中（構想中？）で、私も飛鳥村のような規模の小さい自治体には、スーパードの駅の開設は夢の様な構想で、また、人ごとながら「そんな大きな物を造って大丈

》当別町の優位性

当別町は北海道最大の都市札幌市に隣接し、札幌都心部から JR で約 35 分、車で約 45 分とアクセスに優れ、札幌への通勤通学圏内です。また、石狩湾新港と新千歳空港を結ぶ国道 337 号と、道北方面に通じる国道 275 号が交差する交通の要衝でもあります。

国道 337 号沿いには、平成 29 年 9 月に「北欧の風 道の駅とうべつ」がオープンしました。農産物直売所・特産品ショップやレストラン・テイクアウトコーナーを備え、当別町のインフォメーションセンターとしての役割と、24 時間トイレの設置により、ドライバーの休憩スペースとしての役割も担っています。

当別町の最大の魅力は、豊かな田園風景と山々、自然環境の中でゆったりとした田舎暮らしが可能であることと同時に不便さを感じない都市機能を有している点です。

その自然景観がスウェーデンと大変よく似ていることから、スウェーデン王国レクサンド市と姉妹都市盟約を締結し、国際交流のまちとしても知られています。

また、町内には医療系総合大学の「北海道医療大学」があり約 3,500 人の学生が学んでおり、福祉のまちとしてさまざまな取り組みを町民と共にしています。



道の駅で研修中



夫なんですか?」などと上から目線で、当別町職員に質問していた事を思い出しました。

当時も思っていたのですが、札幌都心部から約25キロメートル、豊平川が合流する石狩川に隣接し、札幌大橋を渡ればすぐ当別町です。どこかで聞いたような地理。実は4年前も気付いていたのですが、まさに飛鳥村の様でした。もちろん、環境も諸条件も違いますが「もし飛鳥村にこの規模の施設を造るならどこが

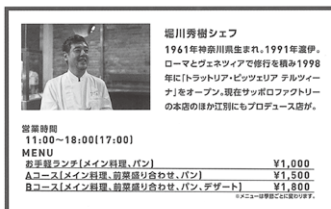
- 館内はIKEAのプロデュースにより、全体が北欧の雰囲気に包まれている
- こだわりのテナント事業者を選定



北海道を代表するイタリアンレストラン「トラットリア・ピッツェリア テルツィーナ」の堀川秀樹シェフがプロデュースするレストラン。北海道産食材を活用した「北海道イタリアン」の提供で、当別町の食育をみんさんに広げることを目指す。おすすは、道の駅とつづつ指定の当別米を使用した焼きそばと当別小麦を使用した生パスタ。カリッとした食感が楽しめる焼きそばともちもちの生パスタは、メイン料理として盛り盛りソースとともに当別のおいしさをお楽しみいただけます。



和菓子の有名店「一茶大福堂」が提供する当別米で作ったおだんご、併設された工房でつくったものが並ぶ。道の駅とつづつオリジナル商品には、当別の米粉をブレンドしたパンや、スイーツも。当別町内の道の駅スイーツとお土産もここで。



いいんだろ?」なんて視察帰りに皆と想像したり、うらやましくもまた、その成功を祈っていました。飛鳥村にも...と考える中、飛鳥村にはその特色を出した、他にはないかたちを模索して、農産物の産直販売、6次産業の商品開発、施設の運営等に活かしていければと思う視察先でありました。

年間の利用客数・販売高について

道の駅開業(2017.9.23)から1年で、来場者 **92.1** 万人

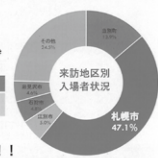
販売高 **4.8** 億円達成

当別町まち・ひと・しごと創生総合戦略(2015.10) ※後継

【農業産物評価指標(KPI)】

指標名	基準値	実績値(2017)
「道の駅利用客数(万人)」	45万人	92.1万人

2019年目標(45万人)の **2** 倍を達成!!



議会広報編集委員会

町村議会広報研修会

愛知県町村議会広報研修会

10/7 9/25

9月25日にシェーンバッハ・サボー(東京)において、町村議会広報研修会に参加しました。

『月刊総務』編集長豊田健一氏から「読者目線で親切な広報誌を作るには」、朝日新聞メディアプロダクション校閲事業部長前田安正氏から「情報をわかりやすく伝える



る」、エディターの吉村潔氏から「町村議会広報コンクール上位入賞団体の評価ポイント」と題した講演を拝聴しました。

また10月7日には、第32回愛知県町村議会広報研修会で「今後の広報のあり方」と題し、広報コンサルタントの芳野政明氏の講演を拝聴しました。

皆さんに、分かり易い「議会だより」を目指します。

